

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 障がい者スポーツ振興事業費補助金（単補）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111（内 2687）

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 17,514 千円（前年度予算額：17,514 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	17,514	0	0	0	0	0	0	0	17,514
要求額	17,514	0	0	0	0	0	0	0	17,514
決定額	17,514	0	0	0	0	0	0	0	17,514

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

障がい者のスポーツ活動を支援し、障がい者の社会的地位の向上及び自立を支援するために、障がい者スポーツの普及・促進、功労者表彰等の実施に係る経費や運営経費を（一社）岐阜県障害者スポーツ協会へ補助する。

（2）事業内容

①岐阜県障害者スポーツ協会の組織体制支援

（i）岐阜県障害者スポーツ協会運営費

様々な側面から県全域の障がい者スポーツ振興を実施する県障害者スポーツ協会の活動に対して支援を実施。

（ii）障がい者スポーツ普及・強化推進員設置費

障がい者スポーツにおける組織体制強化、普及促進、競技力向上等多岐にわたる事務を補助する職員を配置。

②障がい者スポーツの普及、促進に関する取組

（i）岐阜県障がい者スポーツ功労者表彰

障がい者スポーツにおける成績優秀者や功労者への表彰を実施。

（ii）障がい者スポーツ普及・促進事業

ぎふ清流大会の成果を生かし、障がい者スポーツの普及を図るため、障がい者スポーツを団体等の競技会や練習等の活動を支援し、障がい者がスポーツに参加する機会を拡大する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	17,514	・事務局運営費：8,877 千円 ・普及・強化支援員設置費：2,788 千円 ・岐阜県障害者スポーツ功労者表彰：464 千円 ・障がい者スポーツ普及促進事業：5,385 千円
合計	17,514	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県障がい者総合支援プラン(スポーツによる障がい者の社会参加推進)
- ・清流の国ぎふスポーツ推進計画(障がい者スポーツの推進)

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	障がい者スポーツ振興事業費補助金
補助事業者（団体）	（一社）岐阜県障害者スポーツ協会 （理由）同団体は、身体、知的、精神の3障がいを対象とした障がい者のスポーツ振興を図るために、障がい者団体及び関係機関が設立し、すべての手帳所持者が加入資格を有する会員数県下最大の障がい者福祉関係団体であり、本事業を推進しうる組織力、実務遂行能力を有する唯一の団体であるため。
補助事業の概要	（目的）障がい者のスポーツ活動を支援し、障がい者の社会的地位の向上及び自立を支援する。 （内容）障がい者スポーツの普及・促進、功労者表彰等の実施に係る経費や運営経費を（一社）岐阜県障害者スポーツ協会へ補助する。
補助率・補助単価等	定額 ・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	障がい者スポーツにおいて優秀な成績を修めたものを讃え、障がい者スポーツに関心を持つ者が参加する機会を確保することで、スポーツに取り組む意欲を育むとともに、障がい者スポーツに取り組む者の裾野を広げることができた。
終期の設定	終期令和8年度 （理由）清流の国岐阜スポーツ推進計画

（事業目標）

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

障がい者スポーツの振興をするため、岐阜県障害者スポーツ協会の運営を支援し、障がい者スポーツの普及や選手強化等の事業を継続的に実施していく。また、障がい者スポーツの活性化のために、協会による功労表彰や競技別団体の活性化事業の支援を行う。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H24年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
障がい者スポーツを行う団体に対する支援(団体数)	22	30	30

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	17,514千円	17,514千円	17,514千円	(予算額) 17,514千円	(要求額) 17,514千円
指標目標	26	26	26	28	30
指標実績	31	27	32	(推計値) 28	(推計値) 28
指標達成率	119.2%	103.8%	123.1%	(推計値) 100%	(推計値) 94%

(前年度の成果)

障がい者スポーツにおいて優秀な成績を修めたものを讃え、障がい者スポーツに関心を持つ者が参加する機会を確保することで、スポーツに取り組む意欲を育むとともに、障がい者スポーツに取り組む者の裾野を広げることができた。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

「ぎふ清流大会(第13回全国障害者スポーツ大会)」で高まった障がい者スポーツへの関心を一過性のものとするのではなく、障がい者スポーツの普及と拡大を図る必要がある。

(事業の評価)

・事業の必要性(社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か)

○: 必要性が高い △: 必要性が低い

(評価)

○

県障害者スポーツ協会は、ぎふ清流大会を契機とした取組や、2020年東京パラリンピックを見据えた取組を実施するための重要な受け皿であり、その運営等を支援していく必要がある。

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

○: 概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている

△: まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価)

○

「ぎふ清流大会」の開催を契機に、障がい者スポーツへの関心が高まり、事業効果が現れている。

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

○: 効率化は図られている △: 向上の余地がある

(評価) ○	障がい者スポーツへの参加者数や関心が高まり、協会全体の運営費は増加傾向にあっても、補助金額を据え置いて運営できるよう、スポーツ協会が効率化を図っている。
-----------	--

(事業の見直し検討)

<p>「ぎふ清流大会（第13回全国障害者スポーツ大会）」で高まった障がい者スポーツへの関心を一過性のものとするのではなく、障がい者スポーツの普及と拡大を図る必要がある。</p> <p>25年度より拡充した実施している全国障害者スポーツ大会出場決定前の選手の強化育成について、年間を通して支援を受けることができる競技及び選手が増え、障がい者スポーツの競技力向上に寄与しているところである。</p>

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

<p>継続・削減・統合・廃止</p> <p>(理由)</p> <p>東京パラリンピックを踏まえ、今後のスポーツ振興策を検討していく必要がある</p>
